

# 信州木工会

## 「2007研修旅行」報告書

報告者 蛭川 昭雄

日程 2007年9月27日(木)～28日(金)

参加者 谷 山本 須藤 片山 丸山 蛭川 (以上6名)

見学コース

9月27日

裾野 (藤井慎介工房) 11:00～12:00

昼食

三島 (楽寿館) 13:30～14:30

小田原 (安藤和夫工房) 15:30～17:00

箱根湯本 (伊東園ホテル箱根湯本) 18:00

9月28日

箱根湯本 (伊東園ホテル箱根湯本) 8:30

藤沢 (甘糟憲正工房) 9:30～10:30

戸塚 (山の上ギャラリー) 11:00～12:00

昼食 (九つ井) 12:00～13:00

鎌倉 (神奈川県立近代美術館 アントニン&ノエミ・レーモンド展)

13:30～14:30

中央道双葉サービスエリア 9:15 集合 谷さんのトラックと蛭川のハイエースに分乗して、一路 藤井慎介工房へ向かう。

中央道一宮御坂インター 9:30

河口湖 10:00

御殿場 10:30

### 藤井慎介工房 裾野



作品の説明を聞き入る丸山さん。  
右側に少し見えるのは(室)です。



手作りのまめ鉦



工房全景です。

工房裏手に病人の方が住んでいる様で、機械を動かす時は、窓やドアなど締め切って作業するそうです。

楽寿園 三島 <http://www.city.mishima.shizuoka.jp/rakujyu/contents/rakujyukan2.htm>



楽寿館

明治23年、小松宮彰仁親王の別邸として建てられる。

一般公開は1日2回、

10時30分と13時30分

所要時間約30分

尚、館内は撮影禁止です。



楽寿園の中に有る小浜池から観た楽寿館です。

昔は富士山からの湧き水でいつも満ちていた池だったようですが今は地下水が下がり御覧のように底の岩がむき出しになっています。

安藤和夫工房 小田原



工房全景

3年ぐらい前に火事に会う(もらい火)道路を挟んだ反対側に工房があったそうですが今は更地になっていました。現在は蔵に下屋を出して、そこで作業しています。





雑誌などでも良く見かける足置きの付いたスツール。



下屋部分の作業場。狭いスペースでの作業はなかなか大変そうです。

奥左手にもスペースが有りましたが、材料が積んでありました。(材は小田原から仕入れているそうです)



蔵の中 この中では余り作業は行っていないようです。

ギャラリーになるような雰囲気蔵でした。

## 甘糟憲正工房 藤沢



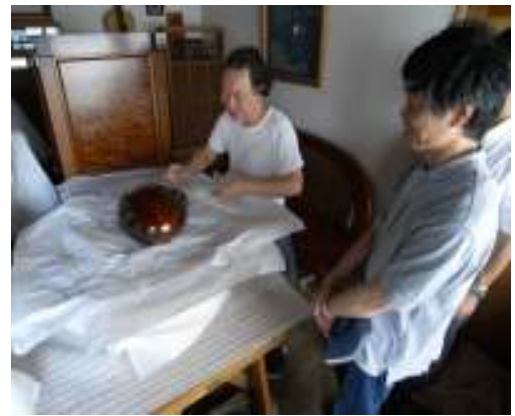
藤沢の住宅街にある工房

道路を挟んで左手には電車が走っています。



部屋を改造した作業場  
の中(9坪位)

大物の作品を制作する  
時など取り回しに大変  
そうです。



荒取り乾燥中と漆を掛けた完成品



船を作る時に使用する曲がった櫂で制作したベンチ



山の上ギャラリー 戸塚 <http://www.kokonotuido.com/main/yamanoue/index.html>



鎌倉の古い酒屋さん  
を移築した建物で、  
とても落ち着きのあ  
る、ゆったりとした空  
間です。

「私の椅子展Ⅲ」が開催していました。



いろいろな作家の制作された椅子に座って「ハイ・チーズ」



神奈川県立近代美術館 鎌倉 アントニン&ノエミ・レーモンド展

<http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/exhibitions/2007/raymond/index.html>



会場内は撮影禁止なので入口で2日間の研修旅行最後の記念撮影。

建築家アントニン・レーモンド(1888-1976)とその妻でデザイナーのノエミ・レーモンド(1889-1980)は、長く日本で活動して、日本におけるモダニズム建築・デザインの先駆者だそうで、近代と伝統、自然と芸術などについて独自の融合を実現し、日本美の再発見に、ブルーノ・タウトやイサム・ノグチにも匹敵する大きな役割を果たしたそうです。

ほとんど毎回研修旅行に参加していますが、個人的にはひるかわ工房の年1回の慰安旅行と思って参加しているので、取りとめもない報告書になってしまいました。参加メンバーが毎年同じようなので、次回の研修旅行にはいろいろな方が参加できればと思います。参加動機は「研修だったり夜の飲み会だったり・・・」

最後に御忙しい中毎年このような企画、準備などをして頂いた谷さんをはじめ今回お世話になった藤井慎介さん、安藤和夫さん、甘糟憲正さん山の上ギャラリーさんにお礼を申し上げます。